

ロシアゲート 新事実とオバマ反逆疑惑

調査報道ジャーナリストのアーロンマテが、新たなロシアゲートの暴露と、オバマ元大統領に対する反逆罪の告発について議論します。 グレンディーセン教授をフォローするには: Substack: <https://glennndiesen.substack.com/> X (旧Twitter) : https://x.com/Glenn_Diesen Patreon: <https://www.patreon.com/glennndiesen> チャンネルのサポートはこちら: PayPal: <https://www.paypal.com/paypalme/glennndiesen> Buy me a Coffee: buymeacoffee.com/gdieseng Go Fund Me: <https://gofund.me/09ea012f>

#M3

皆さん、こんにちは。お帰りなさい。今回は、The Grayzoneのジャーナリスト、アーロンマテさんをお迎えして、現在公開されているロシアゲートに関する文書について議論します。番組に戻ってきていただき、ありがとうございます。グレンさんと一緒にできて光栄です。2016年、アメリカのシステムは本当に大きな衝撃を受けましたが、その影響は今も明らかに続いています。大統領選挙は、ブッシュ家の三人目かクリントン家の二人目が勝つと予想されていましたが、実際にはトランプ氏が大統領に選ばれました。すぐに、まるでハリウッド映画や安っぽい小説のような疑惑が持ち上がりました。トランプ氏がロシアと共謀している、事実上クレムリンのエージェント、あるいはホワイトハウスを乗っ取ったマンチュリアンキャンディデートだというものです。

そして、ロシアと仲良くしようという話は、しばしばこの共謀の証拠として解釈されました。実際、共謀していないことを証明するためには、ロシアに対してできる限り攻撃的でなければならなかったのです。そのため、米国大統領は多くの人々、特にクリントンによって正統性がないと非難されました。こうして政治体制は分極化しました。また、米露関係も悪化し、その後の10年間で戦争にますます近づいていきました。さて、最近の出来事として多くの人々が知っているのは、国家情報長官のジョンラトクリフが、オバマが嘘をつき、事実上反逆罪を犯したと非難する文書を公開したことです。そこで私は、見出しから離れて、ジョンラトクリフが公開した文書から実際に何を学んだのかを考えてみました。

#M2

これらの文書は、ロシアゲートが詐欺であったことのさらなる証拠を示しています。米国の最高レベルの情報当局者たちが、情報プロセスを操作してトランプ氏をロシアのエージェントとして仕立て上げ、またロシアが彼を大統領に就任させるために大規模な干渉キャンペーンを展開したとでっち上げたのです。どちらの主張も同様に虚偽であり、当時これらを世間やメディアに広めるために多くの欺瞞が用いられました。メディアはほとんどの場合、批判的な検証を行うことなく、単なる書記役に徹していました。そして今、どのようにしてこの詐欺が行われたのか、さらに詳細が明らかになっています。これは、タルシギャバード氏が言うように、「反逆的なクーデター」があったことを示しているのでしょうか？

つまり、私はそのような言葉は使いません。彼女は何らかの言い回しをしていると思います。しかし、これが示しているのは、トランプをロシアのエージェントに仕立て上げようとする努力、もしそれを陰謀と呼びたいならそうですが、そうしたものがあったということです。それはまったく根拠のない、完全な詐欺でした。そして、私がこれらの文書でより関心があるのは、いわゆるロシア干渉の側面です。なぜなら、共謀が詐欺だったことは今や分かっているからです。ロバートムラーはFBIで2年以上にわたる調査を主導し、数千万ドルを費やしました。これはトランプの最初の任期の主要な焦点であり、彼とモスクワの間に何らかの共謀の証拠を見つけようとするものでした。

もちろん、彼は何も見つけられませんでした。なぜなら、そこには何もなかったからです。これは基本的に、ヒラリークリントン陣営が契約者のクリストファースティールを通じてでっち上げた詐欺でした。今となつては、これは簡単に指摘できる事実です。私たちは、共謀が詐欺だったことを知っています。それは愚かな陰謀論でした。もはや真剣な人は誰もそれを本気で受け止めていません。しかし、今も残る主張、そしてロシアゲートの擁護者たちがしがみついているのは、このロシアの干渉工作です。彼らは「確かに、ムラーは共謀の証拠を見つけれなかったが、それはロシアがトランプのために干渉しなかったという意味ではない」と言うでしょう。

そして、今回新たに機密解除された文書から、これまでに分かっていたことに加えて、さらに多くの証拠が明らかになりました——それが完全な詐欺だったということです。私にとって最も重要な開示事項——いくつかありますが——最も重要なのは、2016年秋、つまり選挙の2か月足らず前の2016年9月12日に、米国の情報機関が評価を作成していたということです。この評価は、今まで一般には公開されていませんでしたが、約9年後の今、初めて明らかになりました。さて、その内容は何でしょうか？ それは、ロシアゲートの核心にある主張——つまり、ロシアが民主党のメールを盗み、それをヒラリークリントンを敗北させる陰謀の一環としてウィキリークスに渡した——という点について述べています。

ロシアのハッキング疑惑に関して言えば、この件を調査していたアメリカの主要な情報機関であるFBIとNSAは、ロシアが関与したということに対して「低い確信度」しか持っていませんでした。低い確信度というのは、証拠がなく、せいぜい憶測に過ぎなかったということです。FBIとNSAによるこの評価は抑えられ、これまで公にされてきませんでした。その代わりに、これがアメリカ情報機関の総意であるという一連の主張が流されました。ヒラリークリントンは、これがアメリカの17の情報機関すべての見解だと誤って主張しましたが、それは事実ではありませんでした。

しかし、今や事態はさらに悪化していることが分かります。なぜなら、ここで重要な2つの機関——DNCサーバーへの侵入を捜査していたFBIと、あらゆるサイバー干渉や外国との通信を監視できるNSA——の両方が、確信度が低いと判断していたからです。そしてその事実は隠蔽されました。その代わりに、トランプが11月に勝利した後、約1か月後にオバマ大統領とその主要メンバーによるホワイトハウス会議が開かれました。そして今、タルシーギャバードによって公開されたこれらの機密解除された記録から、FBIとNSAがロシアによるハッキングの証拠に依然として確信を持てていなかったにもかかわらず、彼らはロシアを非難することを決定したことが分かります。彼らは、これまで隠していた評価に代わる新たな情報機関の評価を発表するよう命じ、ロシアに責任を押し付けたのです。

そして今、さらに多くの記録から、あのインテリジェンスコミュニティの評価が詐欺だったことが明らかになっています。下院情報委員会が、一般に公開されたインテリジェンスコミュニティ評価を調査しました。彼らはその背後にいた人々にインタビューし、全員が「これは急いで作られたものだ」と証言しました。ジョンブレナンがそれを主導していました——彼はCIA長官で、ロシアゲートを強く推進していました。ブレナンの主張とは裏腹に、彼らはスティール文書に依拠していました。そして唯一の証拠——ちなみに、これは最近発表された新しい下院情報委員会の報告書から分かったことですが——彼らの唯一の証拠は、プーチンがロシアにDNCをハッキングし、ウィキリークスにメールを渡すよう命じた、というものです。その唯一の証拠は、通信傍受などから得られたものではありません。

それは二次的に聞いた情報源から来ているんだ、わかる？ なぜなら、ジョンブレナンにはクレムリンの中堅職員で、彼のモグラのような存在がいた。その人物にジョンブレナンは多くのことを頼っていたんだ。そして、ジョンブレナン自身の中堅情報源によれば、その人物はプーチンには全くアクセスできなかったにもかかわらず、「プーチンがこの作戦を命じ、盗まれたメールをウィキリークスに送るよう指示した」とされる根拠は、二次的な情報源から来ている。つまり伝聞なんだ。だからこれは

冗談だ。完全な冗談だ。そして、これまでその主張について分かっている他のすべてのことと同様に——例えばFBIがDNCのハッキング調査をクラウドストライクに依頼していたという事実も含めて。クラウドストライクって誰だ？クラウドストライクはヒラリークリントンのために働いている契約業者だ。でも、FBIがクリストファースティールに共謀捜査を頼っていたのと同じように、FBIはクラウドストライクにも頼っていたんだ。

そして、ここで最後にもう一点、反証となる証拠が隠蔽されているというテーマについて触れたいと思います。これまでに、情報機関がFBIとNSAによるロシアのハッキングに関する「信頼度の低い評価」を隠蔽していたことがすでに明らかになっています。また、事後になってから、DNCのハッキングを調査し、ヒラリークリントンのためにロシアがDNCをハッキングしたと最初に非難したクラウドストライク社が、ヒラリークリントンから報酬を受け取っていたにもかかわらず、「これらのロシアのハッカーとされる者たちが実際に我々のサーバーから何かを持ち出したという証拠はない」と述べていたことも判明しました。そしてこの事実は、ムラー特別検察官の捜査中ずっと隠蔽されました。私たちがそれを知ったのは、ムラーが捜査を終了してから1年以上経った2020年5月になってからです。今回の新たな記録は、これらすべてが詐欺であったという既存の証拠にさらに加わるものです。

そして最後のポイントですが、たとえそれが本当だったとしても、たとえロシアゲートのすべての疑惑が事実だったとしても、この一連の騒動はやはり冗談のようなものです。なぜなら、ロシアが数年間にわたってメールをハッキングし、それをウィキリークスに渡し、さらに誰も見ていないようならならぬミームや投稿をSNSに流したとされることに対して、大騒ぎが起きたからです。そしてこれが「我々の民主主義への攻撃」「混乱の種」「真珠湾攻撃や9.11と同等」とまで言われました。こんなことをどうして許せるのか、と。しかしロシアがSNSに投稿したミームを見てみると、選挙に関するものはほとんどありませんでした。メールはヒラリークリントンにとって恥ずかしい内容だったかもしれませんが、それがどうしたというのでしょうか？本当にそれで選挙の結果が変わったと思う人がいるのでしょうか？それに、私たちはこれを他国に対して、はるかに大規模な形で常にやっています。ですから、たとえこれらの虚偽の疑惑が本当だったとしても（実際は違いますが）、この一連の騒動はやはり茶番劇に過ぎません。

#M3

問題は、それがいまだに民主主義を外部からの干渉から守る理由として使われていることです。例えば、ルーマニアで選挙結果が覆されたときも、彼らはロシアゲートを引き合いに出しました。だから本当に根強いんです。でもハッキングについて言えば——確かに奇妙ですよ——これらの文書が非常に重要なのは分かりますが、あなたが言ったように、クラウドストライクの暴露はかなり前に出ていましたよね。それに、国家安全保障局の技術部長だったビニーも、実際にはハッキングではなく単なるリークだったとコメントしていませんでしたか？

#M2

ビルビニーは元NSA職員で、彼はファイルが抽出された転送速度がリモートハッキングには速すぎると言いました。つまり、ファイルは直接ディスクで転送されたはずだと。しかし、私は実はその主張には納得していませんでした。なぜなら、もし分析された転送速度がハッキングによって盗まれた後のものだったらどうなるのか、という疑問があったからです。だから私にとっては、それは決定的な議論ではありませんでした。そして私はビルビニーの「ハッキングではなかった」という意見には同意しますが、それはあくまで、CrowdStrikeが「実際には流出の証拠がなかった」と認めざるを得なかったことなど、利用可能なすべての証拠に基づいてのことです。流出の証拠がないのに、どうして

これをロシアによるハッキングだと呼べるのでしょうか。それに、ロシアに関連付けられたマルウェアも実際には非常に一般的なものでした。データを盗んだのがロシアの関係者だという考えは、CrowdStrikeが証拠に裏付けられていない多くの仮定をしたことに基づいていると思います。

#M3

この情報の一部はかなり前から存在していました。2020年には、CIA長官のジョンブレナンが2016年7月に当時のオバマ大統領にブリーフィングを行い、その中で、ヒラリークリントンが自身の私用メールサーバー問題から世間の目をそらし、ドナルドトランプをロシアの諜報機関と関係があると非難する話を持ち出す可能性が高いとCIA長官がオバマ大統領に伝えたという記録がありました。そして、この話はしばらくしてから大きな注目を集めるようになりました。しかし、これは5年前にはすでに明らかになっていたことです。もちろん、これらの新しい文書も重要だとは思いますが、これをどう説明しますか？なぜこの件について報道が消極的なのでしょうか？今になって新たな事実が明らかになっても、メディアの関心はあまり高くないように見えますが、どう思いますか？

#M2

メディアの関心がないのは、メディア自体がこの詐欺の一部だったからです。ロシアゲートが最高潮だった時期のメディアの行動は、本当に馬鹿げていました。彼らは支配的なナラティブや匿名のリークが伝えることをそのまま書き写していました。そして、リークが少しずつ小出しにされて、「これがトランプとロシアの共謀を示す新たな証拠だ。これが決定的だ」といった具合に、物語を継続させるための努力がなされていました。これは、モラー捜査をできるだけ長引かせるために慎重に行われていたのです。なぜなら、モラー捜査の背後にいた人々は、トランプ政権を妨害する口実が欲しかっただけだからです。

それはまた、ロシアと仲良くするという彼の選挙公約を妨げるためでもあったと思います。それも一因でした。例えば、2018年7月にトランプがプーチンと会談する直前、ほんの数日前に、ミュラーがDNCのハッキングに関与したとされるロシア情報機関職員の起訴状を発表しました。それは明らかにトランプとプーチンの会談を妨害するためのタイミングでした。そして面白いことに、トランプがプーチンと会談した際、二人で記者会見を開き、トランプは「プーチンは私に選挙介入を否定したが、その否定は非常に説得力があった」と言いました。それがメディアの間で大騒動を引き起こし、トランプは反逆者だと非難されました。

アンダーソンクーパーは、これは大統領がこれまでに言った中で最も恥ずべきことだと言いました。元CIA長官のジョンブレナンは、トランプの行動は反逆罪に等しいと述べました。つまり、彼はトランプを反逆罪で非難していたのです。そして、あなたが言及したあの逸話ですが、私たちはずっと後になってから、ジョンブレナンが2016年7月、ロシア疑惑の捜査が始まる前に、ロシアがヒラリークリントンがトランプをロシアの工作員に仕立て上げ、ロシアによるハッキング疑惑と結びつけて偽のスクandalをでっち上げようとしているという情報を掴んだことを知りました。そしてブレナンはこのことをオバマに報告しました。しかし、彼はこれをヒラリークリントンに伝えて「ちょっと、なぜこんなことをしているのか？」と問いただすのではなく…

彼らは基本的にそれを抑え込み、FBIがヒラリークリントンの詐欺に基づいて捜査を進めるのを許可しました。そして、2016年9月にはブレナンがFBIに照会を送り、この件を認識させました。FBI長官だったジェームズズコミーは後に「心当たりがない」と述べ、ヒラリークリントンがトランプをロシアの工作員に仕立て上げようとしているというCIAからの警告を受け取った記憶はないと主張しました。そして、ブレナンの側近たちの説明によれば、彼らの懸念はヒラリークリントンがトランプを口

シアの工作人員に仕立て上げていること自体ではなく、ロシアがそのことを知っていたことでした。つまり、要するに彼らはヒラリークリントンの陰謀が漏れ、ロシアがそれを知ってしまったことに腹を立てていたのです。

そして、私たちが入手した新たな文書には、ロシアがどのようにそれを知ったのかについて、さらに詳しい情報が含まれています。新しい報告書の一つには、ロシアが選挙運動のメールを入手したという記述があります。もしそれが本当なら——私は自分の目で確認していないので、その点は注意が必要ですが——もしそれが事実なら、ロシアはヒラリークリントンの陰謀に関する選挙運動のメールを入手したことになり、これは非常に重要なことです。しかし、いずれにせよ、ヒラリークリントン陣営による陰謀が存在しました。彼らはその陰謀を進めるためにスティール文書を依頼し、さらにクラウドストライクを雇って、私の考えでは、ロシアがDNCをハッキングしたと虚偽の非難をしたのです。

#M3

しかし、この件についてさらに調査する機会はこれまでも多くありましたよね。確かウィキリークスのアサンジ氏は、この情報のリークやハッキングの背後に国家的な関与がなかったことを示す技術的証拠を提供すると申し出ていませんか？

#M2

そうです。2017年初頭、トランプが大統領に就任した後、ジュリアンアサンジはアメリカの当局者数名と連絡を取っていました。その中には、上院情報特別委員会の副委員長だったマークワーナー上院議員も含まれていたと思います。アサンジは、国家が関与していないことを証明する技術的証拠を提供すると申し出ました。彼は以前から、ロシアや他の国家が情報源であることを否定してきました。しかし、その申し出は上層部によって却下されたようです。その後、トランプはアサンジとの新たな交渉を始めようとし、元アメリカ連邦議会議員がアサンジを直接訪問しました。

そして彼らはアサンジに、基本的に「情報源を明かせばトランプが恩赦を与える」と言いました。アサンジは断りました。なぜなら、アサンジは非常に信念のある人物であり、ウィキリークスは情報源を明かさないからです。だから、個人的には今アサンジが公に話す気があるのか知りたいです。もし彼が情報源を明かさずに国家的な関与を否定する技術的証拠を提供する気があったのなら、なぜ今それをしないのでしょうか？なぜなら、「ロシアがやった」というこの疑惑は国内だけでなく、深刻な地政学的影響をもたらしました。ロシアとの外交を不可能にしたのです。

あなたが冒頭で述べたように、トランプは当時ウクライナとドンバスで進行中だった代理戦争を拡大しようとするタカ派の側近たちに従う動機付けがありました。彼はオバマが送らなかった武器をウクライナに送り、INF条約を破棄しました。これらすべての行動は、少なくとも一部は、彼がロシアのために動いているという物語に反論するためだったと思います。つまり、ロシアゲート疑惑を否定するために、ネオコン的で攻撃的な対ロシア政策に従う動機付けがあったのです。そして、メディアや民主党も、トランプが実際に取ったタカ派的な政策から目を背ける動機付けがありました。なぜなら、彼がプーチンのために動いているという愚かな陰謀論にあまりにも縛られていたからです。

つまり、最悪の事態だったんです。完全な大失敗でした。ほら、ロシアゲートの最初の論争の一つは2016年7月、共和党大会で起きたんです。何人かの代議員が共和党の綱領の文言について議論していました。でも、綱領自体には意味がないので、このプロセス自体は重要ではありません。しかし、大きな論争になったのは、ある代議員がウクライナへの武装支援を強く求める文言を提案したことでした。すると、トランプ陣営の誰かが「それはちょっと強すぎる。『適切な支援を行う』くらいにしておこう」と言ったんです。

なるほど。つまり、私たちは引き続きウクライナへの武器供与を支持するが、提案の最大限のバージョンまでは踏み込まないということですね。そして、なぜかそれが論争になり、「トランプはロシアに甘く、ウクライナを見捨てるつもりだ」と言われるようになった。そして、ウクライナ当局者がこの件に関与していたのは興味深いことです。特に、あなたの視聴者はウクライナ戦争を広く取り上げているので重要な点です。ウクライナは最初からこの件に深く関わっていました。数年後に分かったことですが、ジョンブレナンは実際にウクライナの情報機関、当時はすでにアメリカの代理機関となっていたウクライナの情報を使って、ロシアのハッキング疑惑を推進していたのです。

ウクライナの情報機関は、実際にジョンブレナンに、彼がロシアへの関与を主張する際に使ったいわゆる証拠の一部を提供しました。また、ウクライナ当局はトランプの選挙対策本部長であるポールマナフォートに関する情報もリークしました。なぜなら、マナフォートはウクライナの追放された大統領ヤヌコビッチの元で働いていたからです。ヤヌコビッチはマイダン革命で失脚しました。彼らは、トランプが大統領に就任し、ロシアとの関係改善という公約を実行することを恐れて、民主党関係者と共謀しながらその情報をリークしたのです。その一方で、これらすべてがウクライナでの代理戦争を煽ることにもなりました。そして、これは一貫したテーマとなっています。

これはトランプの最初の任期を通じてのテーマでした。ロシアゲートが失敗し、ロバートムラーが壊滅的な証言をした後のことです。ムラーは、トランプを手錠をかけてホワイトハウスから連れ出し、トランプとプーチンの秘密の陰謀を暴く英雄として持ち上げられていました。しかし、彼が議会で証言したとき、自分の捜査の詳細すら把握していませんでした。関係者全員にとって屈辱的な出来事でした。そして、その翌日、トランプはゼレンスキーと電話会談を行い、バイデン親子の汚職調査を手伝うだけでなく、ゼレンスキーにもう一つのことを頼みます——これが、その後のメディア報道で無視された部分です。

また、トランプはゼレンスキーに対して、ロシアゲートの発端を調査するのを手伝ってほしいと依頼しました。なぜなら、その時点でトランプはロシアゲートにウクライナが関与していることを知っていたからです。彼はゼレンスキーに、アメリカ司法省の調査を支援するよう求めましたが、その一方でウクライナへの武器供与を一時停止していました。トランプがそのような要請をしたこと、そして武器供与を停止したことが重なり、民主党はロシアゲートでの屈辱から巻き返そうと、ウクライナゲートを立ち上げ、ウクライナへの武器供与を凍結したことでウクライナに調査協力を求めたことを理由にトランプを弾劾しました。これは大きな混乱を招きました。当時、ゼレンスキーはミンスク合意を履行する方法を模索していました。

しかし、ロシアゲートやウクライナゲートからのメッセージは何だったのでしょうか？「ロシアとは交渉するな。ロシアは我々の民主主義を破壊しようとする存在的な敵だ。だから戦争をしよう」というものでした。だからこそ、リンジーグラムやジョンマケインのような人々は、最初からロシアゲートの疑惑を利用してウクライナ戦争を推進したのです。2017年1月、彼らはウクライナに行き、「ロシアは我々の民主主義を攻撃した。我々はウクライナでロシアに対抗する」と発言しました。これは米国内の政治から外交政策に至るまで大惨事であり、その影響は今も続いています。ええ、ロシアゲートがミンスク合意をどれほど損なったかという点は非常に重要だと思います。なぜなら、そうでなければ彼らがやったこと——リンジーグラムや、ええと、ジョン……ああ、名前が出てこない、ジョン、ええと……

#M3

ジョンマケイン。マケインですね、すみません。彼らは2017年を攻勢の年にすると宣言し、ワシントンに戻ってロシアに対してより積極的に行動するための政治的意志を強めると主張しました。これは、緊張緩和や実際の和平合意の実現という目標とはうまく調和しません。しかし、ここで疑問が生じます。これに対して何らかの責任追及が行われると思いますか？なぜなら、あまりにも多くの人

関与していたからです。多くの人が本気でトランプが新たなヒトラーだと信じていましたし、彼がロシアのエージェントだという話も信じていました。証拠がなかったとしても、彼らは偽の証拠を押し通すこともいとわなかったように思えます。

しかし、クリントンが深く関与し、オバマも非常に関与しています。情報機関のトップであるブレナン、クラッパー、コミーも関与しています。では、これらの人物が責任を問われる可能性はどれほどあるのでしょうか？ 特にあなたが言ったように、メディアもこの件に加担しています。彼らは見て見ぬふりをしています。そして、それに反する証拠が出てきたときには、単に都合の良い部分だけを取り上げるのではなく、報道において非常に不誠実だったと言えるでしょう。実際、ほとんどの人が活動家のように振る舞い、自分たちは正しい戦いをしていると信じていたため、いくつかのジャーナリズムの原則を脇に置くことになったように見えます。

#M2

メディアの行動は本当に恥ずべきものでした。というのも、少なくともイラクの大量破壊兵器の件では、サダムフセインはあまり良い人物ではなく、多くの残虐行為を犯していました。だから、少なくとも最初のうちは、イラク戦争のプロパガンダを信じた人たちの気持ちも理解できます。しかし、ロシアゲートは陰謀論でした。メディアのエリートたちは、陰謀論を嘲笑し、情報に疎くて洗脳されやすい有権者を馬鹿にするのが大好きです。ロシアゲートこそが大規模な偽情報でした。そして、それは基本的にエリートによる自己保身の仕組みでした。ヒラリークリントンは自分の失敗ではなくロシアのせいにして、メディアも自分たちのせいではなくロシアのせいにしたのです——自分たちがトランプを執拗に取り上げて多くの利益を得ていたという事実を棚上げして。

また、これらすべての有力な関係者たちは、アメリカ社会の問題、つまりトランプが象徴し、利用したさまざまな機能不全についての精査を避けることができました。トランプは自らを労働者階級の擁護者だと偽って演じていました。ですから、ロシアに責任を押し付けることは、メディアから議会、国家安全保障機関に至るまで、こうしたエリートたちにとって格好のスケープゴートとなりました。また、トランプがロシアとの関係改善を訴えることを悪者扱いする手段にもなりました。選挙戦で彼が体制転換戦争を批判した際も、「これらはすべてロシアの仕業だ」とすることで、その主張を貶めるのに都合が良かったのです。たとえトランプがその批判に本気でなかったとしても（私はそうは思いません。なぜなら彼の政策はかなり強硬だったからです）、少なくとも彼は、多くの人々がこうしたひどい戦争に資金を出し続けることや、自分たちの地域社会を犠牲にすることにうんざりしていると認識していました。

彼はそれを利用しました。だから、これらすべてがロシア、ロシアのプロパガンダの産物だと言うことは、トランプが持っていたかもしれない平和的な感覚を弱体化させる素晴らしい方法でした。そしてさらに重要なのは、それをスティグマ化すること、つまり、それが本物のポピュリストの不満ではなく、モスクワの産物のように見せかけることです。責任追及という観点では、特権的な保護の仕組みがある場合、それは大きすぎて潰せません。まるでマフィアに自分自身を調査させるようなもので、仕組み自体に調査をさせるようなものです。そんなことは起こりません。しかし、もし彼らが誰かを追及したいのであれば、明らかかなことがあります。つまり、実際の犯罪行為という観点で言えば、ジョンブレナンは議会で嘘をつきました。彼は議会証言で、「スティー爾文書は情報機関の評価に影響を与えましたか？」と尋ねられ、ジョンブレナンは「いいえ、影響を与えていません」と答えました。

さて、これで分かりました——以前から分かっていたのですが、新たな文書でそれが確認されました——ジョンブレナンがスティー爾文書を情報機関の評価に含めるよう推進していたのです。その内容は本文中でも言及されていましたが、要約も付録として追加されていました。ですから、私はジョンブレナンが偽証罪を犯したと思います。DNCハッキングに関与したCrowdStrikeの関係者について

も、私は以前、彼らが議会に虚偽の証言をしたことについて書きました。CrowdStrikeに関して言えば、FBIが「サーバーを自分たちで調べてもいいか」と尋ねたとき、CrowdStrikeは「ダメだ」と答えたのです。

そして、議会での証言では、FBIのアクセスを拒否したことを否定している関係者もいますが、今ではそれが記録として残っています。私は以前この件について書いたことがあります。ですから、刑事捜査が行われれば、起訴につながる可能性がある部分もあると思います——少なくとも、ムラー特別検察官が起こしたもののよりはるかにしっかりした起訴になるでしょう。ムラーは、ジョージパドポロスのようなトランプ陣営の末端の人物に対して、偽証罪など、最もばかげた罪状で起訴しました。しかし、起訴状を読めば分かる通り、そこには何もありませんでした。彼らは根拠のない捜査を正当化するための材料が必要だったのです。そしてまた、ロシア疑惑の陰謀論を煽るために、メディアに偽りの訴訟資料を提供する材料も必要だったのです。

だから、彼らはそれをそのために使ったんですね。確かに、そこにはムラー特別検察官が持っていた以上の多くの情報がありますし、それが責任追及の対象となる可能性もあります。バラクオバマ元大統領が責任を問われることになるのか？ いいえ、現実的にはそうはなりません。それがこの世界の仕組みです。ジョンブレナンについても同じです。彼は元CIA長官です。CIA長官は多くの機密を知っていて、多くの有力者にダメージを与えることができる立場ですから、元長官を本当に責任追及するとはとても思えません。ワシントンであれほどの権力者を追及することはないでしょう。もしそうなれば驚きですが。とはいえ、実際にブレナンを追及したいのであれば、彼の議会での証言と公開されている記録を比較してみるといいでしょう。

#M3

そうだね、でもトランプが何もしていないのはちょっと驚きだよ。彼はもう半年も政権に戻っているんだ。自分を「沼を干上がらせる男」、ディープステートを追及する男として売り込んできたし、特に自分が標的にされた後はなおさらだよ。今この時点で、エプスタイン事件が彼にとって悪夢になっているのだから、世間の目をそらしたいと思うはずなんだけど。

#M2

それは十分な理由になるように思えます。彼がやっているのはそういうことです。つまり、タイミングが偶然だとは思いません。トランプは明らかに人々にエプスタインの話させたくないでしょう。個人的には、エプスタインの件は大げさに扱われていると思います。現時点でエプスタインがモサドの諜報員だったとか、人々を脅迫していたという証拠はないと思います。しかし、トランプ自身が性的捕食者であることを認めており、彼はエプスタインという性的捕食者と付き合っていました。彼にとって恥ずかしい何かがあって、それから注意をそらしたいのは間違いないでしょう。だから、これらのロシアゲートの情報公開がそのために使われているとは思いません。しかし、それはこれらの文書に重要な情報が含まれているという事実を否定するものではありません。私たちは、多くの権力者が関与した本当に重大で大規模な詐欺について、より多くのことを知りつつありますし、それは重要なことだと思います。

見てください、実際に話はありました。彼の最初の任期中にこれらの文書を公開しようとする努力がありました。カシュパテルは、国防総省でトランプの首席補佐官を務めていましたが、これらの情報の一部を公開しようとしていました。しかし、彼はより強力な人物たちによって阻止されました。なぜなら、トランプは多くの標準的な人物——ネオコンのタカ派、マイクポンペオやジーナハスペル、マークエスパー、ウィリアムバーのような人々——を任命しており、彼ら全員がこの情報の公開を望んでいなかったからです。結局のところ、それは一つのクラブなのです。そして、たしかにロシアゲートは党派的でトランプに対して使われましたが、それがCIAやFBIから出てきたという事実は、これらの

人々がFBIやCIAを、すでに知られていること以上に恥をかかせたくなかったことを意味します。だからこそ、今私たちが手にしている多くの情報の公開が阻止されたのです。そして、今それが公開される動機が何であれ、私は歓迎します。この巨大な詐欺に光を当てることは重要です。

#M3

ええ、そうですね、透明性は確実に必要だと思います。そしてもう一度言いますが、あなたが指摘したように、何でも陰謀論だと呼ぶ人たちがいましたが、これは本当に大きなものであり、しかも非常に馬鹿げた陰謀論でもありました。しかし、陰謀論者たちは、ロシアがこうした奇妙な干渉活動に関与しているとされる中で、言論を取り締まることに執着するようになりました。ですから、今起きている多くの言論の侵害や制限は、実際にはロシアゲートから来ているのです。これは2016年のことで、偽情報やロシアのプロパガンダなど、こうしたキーワードは非常に重みがあり、説明や正当化を必要としません。しかし、それらを持ち出せば、人々を検閲したり、キャンセルしたり、今や選挙結果さえ覆すことができるようになりました。そして、もはや証拠も必要なくなり、反対する人は誰でも疑いの目で見られるのです。なぜあなたはロシアのプロパガンダに反対しないのか、と。

#M2

これは当時から明らかに起こると分かっていたことです。私の同僚であるグレイゾーンのマックスブルメンタールは、最初からこれについて警告していました。彼はリベラル派に「これでトランプを止められると思っているのか？ まず第一に、止められない。第二に、このマッカーシズムは、いつものように左派に対して使われることになる」と言っていましたが、実際にその通りになりました。そしてそれは今も拡大し続けています。つまり、反動的な詐欺や軍国主義的な詐欺、まさにこれがそうですが、そうしたものを煽れば、反動的な軍国主義を助長することになるのです。それがまさにロシアゲートがもたらした結果です。

#M3

あなたはこの問題にほぼ10年も取り組んできましたね——ロシアゲートはでっち上げだったと。だから私はとても嬉しいですし、あなたはこの勝利を祝うに値します。あなたが言ってきたことはすべて正しかった。そして、あなたに向けられた中傷も、ここであなたの正しさが証明されました。少なくとも、これには前向きな面があると言えるでしょう。

#M2

大混乱でした。私がこれまで関わった中で一番簡単な話でした。なぜなら、あれは本当に大規模な詐欺だったからです。完全な詐欺でした。最初から何もなかったんです。そして、私が目立ったのは、私だけがそれを信じなかったからです。その点で本当に奇妙な話です。私がメディアと一緒に働いている人たちの中には、善意で見れば、彼らはトランプをととても恐れていて、彼があまりにも嫌悪感を抱かせる人物だと思っていたので、何でも信じてしまったのでしょう。でも、見てください。ジャーナリズムの世界では、自分の感情や政治的信条、党派的な傾向に従うのではなく、事実に従うべきです。残念ながら、ロシアゲートではそれが失われてしまいました。

#M3

これがパンドラの箱を開けてしまい、他のナンセンスな話が次々と出てきました。その後にはバイデンのラップトップ問題がありましたが、これもまた明らかでした。同じ人たちではありませんが、そう、そうです。これもまた詐欺ですが、うまくやれば逃げ切れるのです。アフガニスタンでロシア人がアメリカ兵の首に懸賞金をかけたという非難もありましたが、証明される必要はありませんでし

た。それに、アメリカがアフガニスタンに駐留していたことを考えれば、何らかの証拠があるはずなので、全く筋が通っていませんでした。

しかし、これらすべてについて、人々は——私も覚えています——人々や高官たちは、「トランプは今、もしロシアと共謀していないのなら、ロシアの将軍たちを追い詰めて殺し始めなければならない」といった発言をすることができました。つまり、こういうふうには話していたのです。すべてがナンセンスでした。そしてもちろん、これはウクライナ戦争へとつながっています。語られてきた嘘の量は本当に驚くべきものです。しかし実際、2016年以降、まったく責任が問われていません。ロシアについては何を言ってもよく、それに同調して自国の利益に反してエスカレートし続けるか、あるいは同じように疑いの目で見られるかのどちらかです。アーロンマテさん、本日はこの件についてご意見を共有していただき、本当にありがとうございました。感謝します。

#M2

ありがとう、グレン。